

第4回検討委員会での協働体制強化（案）に対する各団体意見

令和 4 年5月12日

学校・家庭・地域の協働体制検討委員会

資料 6

No.	団体名	内容	発言分野
1	開かれ代表者会議	協議会で「承認」を求められどこまで責任を持つのか心配になる方もいるのでは、また、人事や経営に口を出す委員が出てくるのでは。	協議会の意義
2	開かれ代表者会議	協議会がきちんと機能するのか、どこが中心になっていくのか整理してもらいたい。地域の核となる団体と開かれた学校づくり協議会でどう連携するのが重要。	協議会の仕組み
3	開かれ代表者会議	「承認」や「権限」という言葉は重たく感じ、メンバーの選び方も難しくなる。	委員の選定・構成
4	開かれ代表者会議	地区により団体の活動や地域住民同士のむずび付きなど様々で、一律に動くことはできない。地域をもっと掘り起こしていくこと、活動にかかわる人を増やすことが必要。	協議会の在り方
5	開かれ代表者会議	学校に求められるものが大きくなっている。会議数が増えたと先生の負担が増えるのでは。	協議会の在り方
6	開かれ代表者会議	「責任」と「権限」は少し考えてしまう。負担が増え、なり手が少ないのでは。責任が発生するなら「仕事」として引き受ける必要があると感じた。	協議会の意義
7	開かれ代表者会議	会議は回数を増やすのではなく、一回当たりの内容を充実させていくという見直しの方法もあるのではないか。	協議会の運営方法
8	地域コーディネーター連絡会	中学校と小学校の地域コーディネーターの活動の違いは大きい。今の開かれた学校づくり協議会のメンバーでこのイメージを回していくことができるのか。やりたいことに応じる人選も重要。	委員の選定・構成
9	地域コーディネーター連絡会	周囲の保護者の多くが「開かれた学校づくり協議会」の存在を知らない。そもそも知られていないならネーミングを変えてもよいのではないか。ネーミングの公募まではしないにしても、各校の「開かれた学校づくり協議会」で話し合い、候補を挙げてもらってもいいのではないか。	協議会のネーミング
10	地域コーディネーター連絡会	開かれた学校づくり協議会の学校評議会機能は形骸化していると感じる。学校運営に関して外からの意見具申は必要かもしれないが、いきなり来た委員が口を出すのはよろしくないのでは。	協議会の意義
11	地域コーディネーター連絡会	校長の異動があっても、単年度で人が変わるPTAと違い、地域コーディネーターには声をかけやすいと感じる。一方で、地域コーディネーター自身で対処できない難しい課題には「できません」と割り切ることも大事と感じている。	地域コーディネーターの役割
12	地域コーディネーター連絡会	どんと焼きで青少協とPTAが作業しているところに先生方もたくさん参加してくれた。同じ目標をもって、同じ活動に取り組むことがお互いの理解を助けると感じた。	連携の在り方
13	地域コーディネーター連絡会	副校長事務補助の方が地域コーディネーターをサポートしてくださり、複数で対応するメリットを感じている。地域の協力を得られるよう、ひとり孤軍奮闘するのではなく、みんなで考えたり様々な方の協力が得られるとよい。	地域コーディネーターの複数配置
14	地域コーディネーター連絡会	検討委員会の検討内容について、関係者によく見えるように検討を進めてほしい。多くの声を反映させて、関係者の不安を解消して、使いやすい仕組みになっていくのではないか。	検討委員会への要望
15	地域コーディネーター連絡会	「開かれた学校づくり協議会」の機能強化についても早めにわかっていれば先行して具体的なシミュレーションができる。地域コーディネーターも連絡網ができて気持ち的に楽になった。連絡や共有手段についても、あまりオフィシャルにならなると使いにくく、生の声が聞こえなくなる。	連携の在り方
16	地域コーディネーター連絡会	地域コーディネーターをサポートする人が増えるのはありがたいが、様々な地域団体から推薦で出てくるような性質だと、かえって気を遣う必要が出てくるのではないか。	地域コーディネーターの複数配置
17	地域コーディネーター連絡会	地域の枠には新たな担い手の存在も表現できるとよい。教育活動に協力的な若者の層に対してどのように情報発信をして拾っていけばいいのか。	連携の在り方
18	地域コーディネーター連絡会	特にコロナ禍における地域行事の準備については、どの程度PTAの賛同を得られるかわからず中止した。お互いがお互いの状況を察知しないとやっていることがマイナスに働く場合があると感じた。	連携の在り方
19	地域コーディネーター連絡会	「開かれた学校づくり協議会」の委員については「子どもに近い方」という視点で推薦してもらうよう意見を出したことがある。実際に委員の平均年齢が下がっている学校もある。	委員の選定・構成
20	地域コーディネーター連絡会	校長が変わるごとに学校の方針がコロコロ変わるのはいかがと思う。その地域にあった柱みたいなものは変えてほしくない。地域のならわしや慣習など大事な柱を守りながら時代の流れを汲んでいけるといい。	協議会の意義
21	地域コーディネーター連絡会	地域コーディネーターは多忙な先生をサポートしてることが仕事と言われた。地域の要望をいただくことも多かったが、そういう位置づけでないと説明してきた。今後は、そういった地域の声にもこたえていかなければならず、役割の幅が広がっていくと理解したほうがいいのか。地域の声を多く聞くためにも、周知の方法についてもよく検討してほしい。	広報・周知
22	地域コーディネーター連絡会	「開かれた学校づくり協議会」の言葉ひとつとっても解釈が色々である。ある程度議論の焦点を絞っていかないと、議論が拡散するのではないか。	検討委員会への要望
23	地域コーディネーター連絡会	「開かれた学校づくり協議会」の中で、現在の仕組みのままでいいのではないかという意見が上がった。「開かれた学校づくり協議会」に提案や承認機能が加わると学校に負担をかけるような方向に進まないか。そもそも人数や回数を増やすとなれば、それ自体が負担になるのではないか。	協議会の意義
24	地域コーディネーター連絡会	「承認」した内容が実施されないことがあれば、「先生を変えてくれ」の要望につながってしまうのではないか。公式に言えるようになってしまうことは問題ではないかと感じる。	協議会の意義
25	地域コーディネーター連絡会	そもそも「開かれた学校づくり協議会」が知られていない中で、市民にどのように知らせて実施していくかは大事である。いきなり投げかけても市民の目には留まらない。	広報・周知
26	PTA連合会	そもそも「開かれた学校づくり協議会」の認知度が低く、どういった組織なのかわからない。	広報・周知
27	PTA連合会	学校の特徴を保護者に理解してもらうことも大事である。	協議会の意義
28	PTA連合会	現役の親が出たほうが良いのではないか。様々な立場の人が積極的に参加できるか。毎回出られるかの不安はある。代理参加も可能か。	委員の選定・構成
29	PTA連合会	未就学児（幼稚園や保育園）の保護者も入れてほしい。就学にあたり不安を抱える人も多いのではないか。	委員の選定・構成
30	民生・児童委員	先生方が多忙というのは、何が忙しいのか学校訪問してもわからない。	学校に対する疑問
31	民生・児童委員	民生・児童委員として協議会にどういう関わりができるのか。これまで開かれた学校づくり協議会に関わっていないとわからない。	広報・周知
32	民生・児童委員	委員には若い方も入れたい。公募などもいいのではないか。協議会を持続可能なものとするために、メンバーをどうやって選ぶのか、きちんとした選任が必要である。	委員の選定・構成
33	民生・児童委員	委員は役職ありきでずっと同じ人にならないよう新しい風を入れたい。自分が辞めるといわない限り、何十年もやっているような方もいる。長く委員を務める方は、自分からも「交代する」と言わないといけない。	委員の選定・構成
34	民生・児童委員	地域CDは大事な人である。地域CDがお願いしやすい人がいいのではないか。	委員の選定・構成
35	民生・児童委員	開かれた学校づくり協議会のPRが必要である。PTAの方でさえ知らないことがあるなら、一般の方も知らないだろう。	広報・周知
36	民生・児童委員	地域CDの呼びかけで運動会の受付を地域団体や民生委員で手伝った際、プログラムが学年ごとに色分けしている工夫があり受付がスムーズにできた。受付を手伝って「とてもよかった」と思った。学校が手が届かないところに地域の協力ができるとよい。	学校との協働活動
37	民生・児童委員	協議会のネーミングに参加しやすい楽しそうなイメージが持てるといいのではないか。	協議会のネーミング
38	民生・児童委員	民生・児童委員としては、協議会に協力する体制を作っていく。	協議会への協力体制
39	福祉の会	次世代を担う大事な児童生徒たちの一助になることへの協力は全力でさせていただきたい。しかし、「開かれた学校づくり協議会」のメンバーになることは難しい地区もある。	委員の選定・構成
40	福祉の会	PTAの役員決めで厳しい現状では、PTAを廃止にして、今回の協働体制に変えていくことが必要ではないか。地域の中には民生委員、青少協等の各種団体があるが、スポーツ団体もあり、それらの団体からも意見を聞いた方がいい。色々な機能や役割が期待されているが、もっとコンパクトな体制にしてスッキリしたい。	協議会の在り方
41	福祉の会	子どもの心を失わないような教育をしてほしい。学校教育で平和、防災、環境教育をしっかりする。そのために先生がもっと余裕をもって子どもに向き合えるよう専科の先生を増やすなどの仕組みが必要ではないか。地域の力をもっと信頼して、できることは地域に依頼する。地域が入ることによってむしろ安心安全も増すのではないか。	協議会の意義